

ワタシと研究どっちが大事なの?!

博士世界

【はかせせかい】 Prisoners' World

大学院生はどう出会い、別れるのか
恋人の存在は研究に影響するのか…?

博士学生の恋愛

第2弾 男子の場合

数字で見る博士課程④ 研究者と結婚

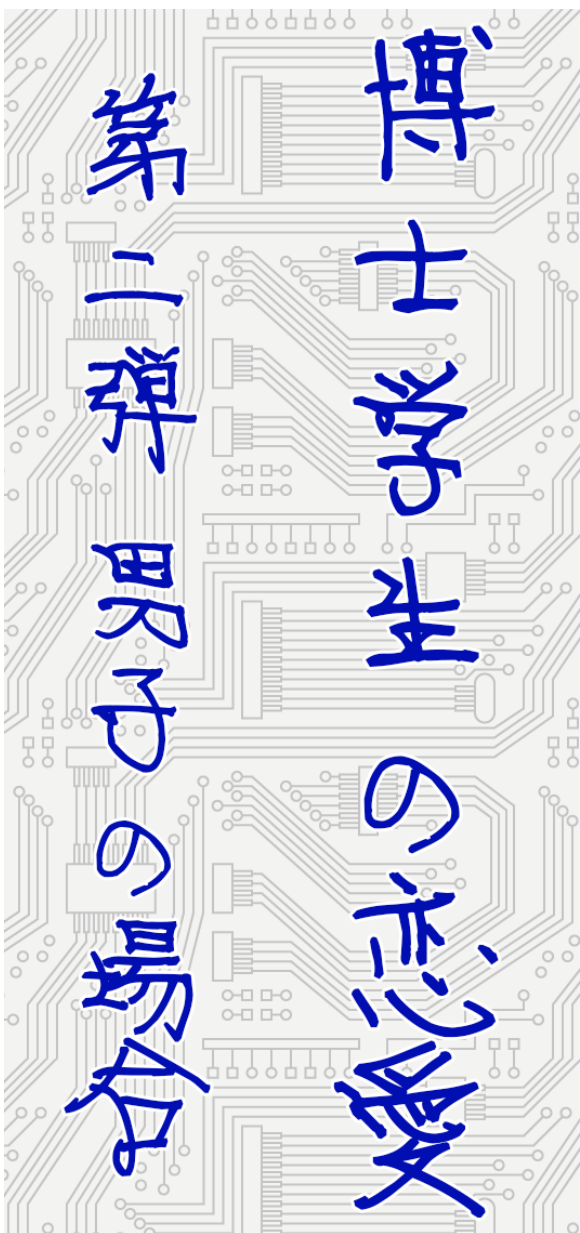
第4号

2017.8



目次

特集 博士学生の恋愛	・	・	・	・
第二弾 男子の場合	・	・	・	・
数字で見る博士課程④	・	・	・	・
読者コーナー&お知らせ	・	・	・	・
編集後記	・	・	・	・
	8	8	7	2



みんな気になっていているけれど、オープンに聞けることが多くはない博士課程学生の恋愛。

今回は女子の場合を特集し、ライフプランも含めた女子会トークをお届けしました。

そして今号では、博士課程に在籍する男子学生の恋愛事情を探ります。

男子会レポート

博士課程進学を考えるにあたって重要な問題の一つ「恋愛」について、今回は男性目線で特集します。都内の大学院に通う男性5名で、博士男性の恋愛事情について総説していきます。

〈参加者〉

- Aさん (工学系・D3)・・・交際相手なし
- Bさん (工学系・D1)・・・交際相手あり
- Cさん (工学系・D1)・・・交際相手なし
- Dさん (理学系・D1)・・・交際相手なし
- Eさん (工学系・D2)・・・交際相手なし

では、どんな話題が出たか見ていきましょう！

☆特集コンテンツ☆

(前半・2・3ページ) 都内某所で行われた、博士課程に在籍者している男性6名による恋愛トークの様子をレポートします。

(後半・4〜6ページ) 博士在学者・経験者の男性3名に個別に取材を行い、大学院入学「博士課程までの「交際相手ほしい度」と「恋愛満足度」の推移、恋愛についての認識をうかがいました。

女の子とはどうして出会う？

A：僕は他大の講義で出会いました。僕の専攻は工学系で女性比率が低いんですけど、参加した他大の講義は女性比率が高く機会に恵まれました。結局その子とは3〜4回デートして付き合うに至りました。

B：僕も、講義ではないですけど課外プロジェクトで出会った他大の子と付き合っています。プロジェクトを進める内に仲良くなり付き合うことになりました。(課外プロジェクトというのは) 研究ともちよつと違うんですけど、知人の伝手で知り合った人達(学生)と気になってるテーマについて協働したものです。有志の課外活動です。

C：僕は留学先で出会った他国籍の子と2ヶ月くらい付き合っていました。帰ってくるときに別れちゃいましたけど。

D：他国籍の子とか、僕も付き合ってみたい(笑)結構他大が多いですね、僕は学内の講義で出会いましたけど。

A：学内で出会うなら、やっぱり講義とかワークショップになるんじゃないですか？学外だとテニサーで女子大の子とか。ただ相手のバックグラウンドで合う人合わない人は居そうだよ。僕は話合わない人はちよつときつくて、正直「ドラマが〜」とか「俳優が〜」とかの話ばかりだよ。あと研究の話した時に「へーすごいねー(死んだ目)」とかだと寂しい。

C：そつえば前にTinder(※)ってやってみましたよ。面白くなくてすぐやめましたけど。

omiai(※)では付き合うに至ったけど結局話が合わなくて別れちゃいました。

B：学会とかどうなんですかね。

E：環境系と生物系は女子多いよ。機械系とかは少ないよね。

相手を選ぶ上で何をみている？

D：学会で出会うと話し合いそうでその点では良さそうだよ。やっぱり話が合うことは大事だけど、他つてどんなところを見えます？年齢とか？

A：年齢は関係なくない？余りに離れてなければ、30代でも凄く若く見える人とかいるし。

B：僕は、交際してて多少お金かかるのはいいけど時間が掛かりすぎるのは嫌ですね。やっぱり研究があるので。

E：博士課程同士だと境遇というか、分かり合えるつていうのはあると思う。

D：博士同士だとも忙しいんじゃない？

A：会話が合つてお金足りてれば、時間は作るうと思えば作れると思うけど。ただ求められすぎると時間的に無理になるから、そこを汲んでくれる相手なのは重要かも。

E：僕は共働きできる人がいいかな。

D：ダブルインカムの方が将来的に、出産とか諸々低リスクではあるよね。やっぱり皆さん結婚は前向きに考えてるんだ？

※Tinder/omiai...どちらもマッチングアプリ(異性の友人・恋人と出会うためのアプリ)の名称。

結婚・人生設計は？

B：結婚はしたいですね。修了して1年後、28歳くらいで。

E：僕も(結婚を)したいですね。

C：僕もしたいです。僕は35歳くらい迄には。

D：僕も経済力的に35歳くらいですね。ポスドク回つて、職に着くのがそのくらいになると思う。

A：でも(調べたところ)生々しい話だけど精子の質が急激に衰えるのが35歳頃かららしいから、子どもが欲しいならそれまでに子作りはした方が良さそうだよ。

D：35歳で期限つて、残り時間短くないですか。

A：仮に交際期間2年で結婚が別れるか決めるとしたら、交際人数3人以内に結婚する人決めないといけないつて事になりますね。

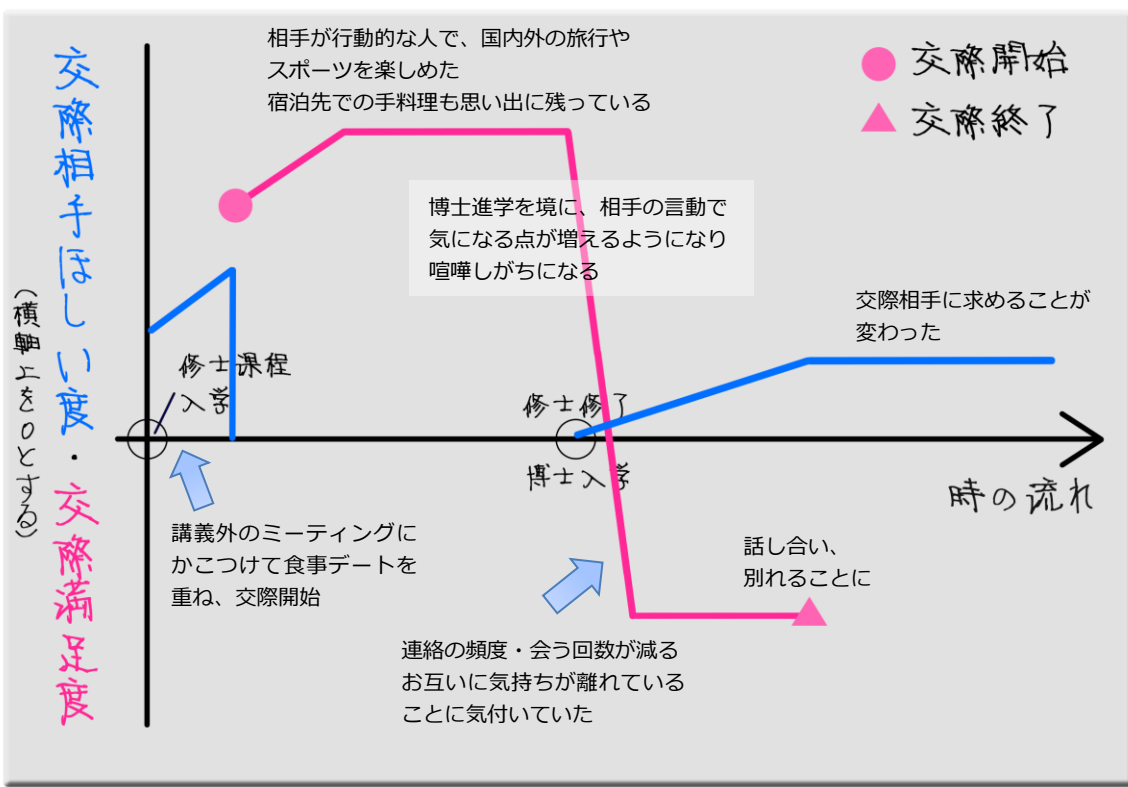
D：男性もけつこう押ししてるんですね。

男子会まとめ

お付き合いする相手には「話が合う人」かどうかを皆さん気にされていました。また、「研究の時間をしっかりと確保した上での恋愛」という認識が主流のようです。記者にとつて意外だったのは、男性・女性がともに忙しい立場の場合でも、恋愛を保留(付き合わない・一旦別れる等)するよりは「少ない時間をやりくりしてでも関係を繋ぐ」と考える方が本男子会では多くいた事でした。また結婚については、希望時期こそバラバラですが、皆さん前向きなようです。

Xさん 暇な

理学系・実家暮らし・定期収入有



理学系で研究者志望のXさんは、修士課程在籍中に他専攻の彼女を作り、約2年の交際を経て破局し現在に至ります。

出会いは修士課程での講義です。課題のグループワークで同じグループになり、会っている内に次第に好意を寄せる様になっていきました。それからはグループワーク以外でも連絡を取る様になり、食事デートを重ね告白し交際に至ります。Xさんから主体的に行動を起こすようにしていたとの事です。

交際中は、研究の合間に国内ドライブデートや国外旅行を楽しみました。またランニングやサマー・ウィンタースポーツなどにも行っただけです。特に記憶に残っているのは旅行で、民泊を行った際に協力して家事を行ったのがこれまでに無い経験で新鮮だったとお話しいただきました。

ところがXさんは博士進学を機に、少しずつ彼女の言動に気になる点が増え、喧嘩しがちになり連絡やデートの頻度が落ちていきました。会う頻度の低い期間が続き、その後話し合い別れることにしたそうです。

以下では、交際前・中・後の随所でXさんが考えていたことを深めて伺ってみました。

Q. グループワークでの出会いはたまたまでしたか、それとも狙ったことでしたか？

A. ある程度狙ってですね。学部卒の友人から「社会人になると出会いが減るぞ」と脅されていたこともあり、学生の内に長く付き合える女性を探していました。研究室内の恋愛はトラブルの元だと認識しており、また合コンはやたら出費がかさむ割に次に繋がる割合が低いと感じていたので、あとは

講義くらいかなと考えていました。マッチングアプリは、当時は胡散臭いと感じていました。

Q. 女性を探す上で何か基準みたいなものはありましたか？

A. はい。研究者志望であることに理解を示してくれる人、そして一緒に飽きない人ですね。研究活動はとにかく時間がかかり、また学生という身分からあまり金銭に余裕がある訳では無いので、そこを汲んでくれる人がよかったです。前者の条件から、大学内での出会いを求める傾向が強かったと思います。身近に研究者がいないと研究者の日常が想像しにくいと思うので。後者はフィードリングですが、相手を尊敬できる事が当時は重要でした。

Q. 交際後、その基準は変わりましたか？

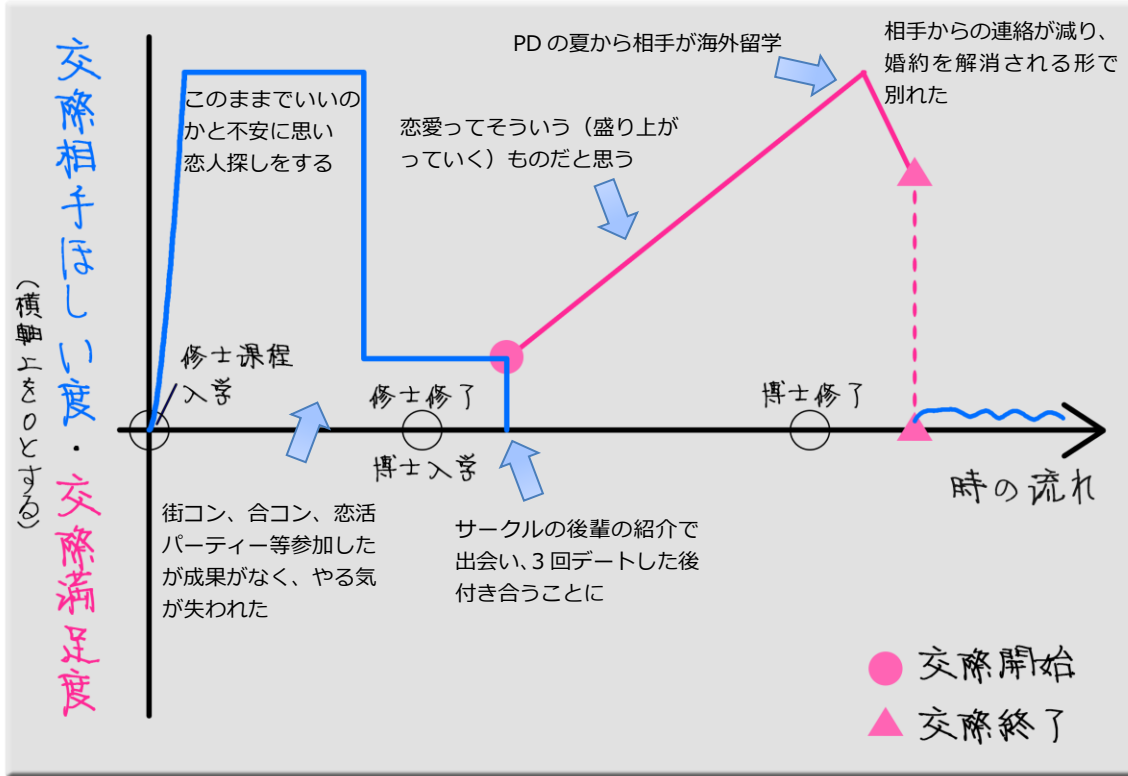
A. 後者が多分変わっていると思います。交際してみて、飽きない事よりも、一緒にいて楽しい事の方が重要だと思っ様になりました。僕が博士進学を機に別れる事になったのは、厳密に考えることに慣れてしまい相手（の言動）をあまり尊敬できなくなったからで、そもそも尊敬できることを基準としていたのが違ったのかもと思います。今後はマッチングアプリ等で広く女性に会い、一緒にいて楽しい人を探そうと思います。

Q. 研究を進める上で恋愛はプラスでしたか？

A. はい。研究相談はしませんでした。が、愚痴やそれ以外での相談は乗ってもらえましたし、旅行はともいい気分転換だったと思います。経済的に私に依存するつもりで女性では無かったので気楽でもありました。時間とお金を工面する練習にもなったと思います。

Yさん
PRND

情報系・下宿・定期収入有



現在、首都圏の私立大学でポスドクをしているYさんは、博士後期課程1年目に付き合い始めた彼女と3年半近くの交際の後、破局し現在に至ります。

Yさんは修士課程の頃に積極的に恋人探しをしていました。その理由は、それまでに女性と恋愛関係に発展したことがなく、このままでいいのだろうかという不安があったためだそうです。Yさんは知人からの紹介、街コン、合コン、恋活パーティーへの参加など多様な活動をしていました。合コンには3、4回参加し、相手は保育士、看護師、会社員だったそうです。いくつかの活動でデートに至ったこともありましたが、交際まで至らず、修士の終わる頃には恋愛に対するやる気を失っていました。

その後、博士後期課程に進学したYさんは学部時代のサークルの後輩(女性)からその方の姉を紹介されました。曰く、「自分の姉が水族館に行きたがっている」と紹介されたそうです。その後、食事も含めて3回目のデートの帰り道に告白して交際が始められました。自分から告白したのですが、相手からはサインが送られてきていたそうです。

交際期間中、交際相手の方は2度海外留学をしています。1度目の時には、毎日スカイプで連絡をとっていました。2度目の時には、それをYさんは億劫に感じることもあったそうです。そして相手が1度目の留学から帰ってきてから婚約しました。この時も事前に相手の方がそういったサインを出していたそうです。しかし、相手の2度目の留学では1度目とは異なり、相手からの連絡の頻度が低下したそうです。少し距離感を感じ始めたYさんでしたが、結果的には向こうから別れようと言われ、相手の留学の5カ月

後に婚約を解消される形で関係は終了しました。以下では、Yさんの博士学生と恋愛に関する考え方について深く伺いました。

Q. お付き合いした方に対してありがたいなと思ったことは何ですか？

A. 自分の夢や目標がありそれに努力している人が好きです。私自身もそうなのだと思います。そのため、研究を応援してくれるところが良かったです。研究者がなかなか不安定であること、論文投稿、採択の意味やその忙しさを理解してくれていたのがあります。ありがとうございました。

Q. 研究を進める上で恋愛はプラスでしたか？

A. 研究業績と恋愛は関係ないと思います。ただ、恋愛をしたこと自体はよかったです。Q. 今後、結婚しようと考えていますか？

A. 35歳までにはしたいです。それを超えると相手探しが難しくなってくるのではないかと思います。現在はマッチングアプリを利用しています。

Q. 博士学生は恋愛ができるものですか？

A. 実際にできたのでできると言えます。しかし、情報系なので出会いはなく相手がいる人も少ないです。当然、研究を優先するから遊んでいるわけにもいきません。相手がいる人は高校時代や大学時代の知人と付き合い合っている人です。学会で出会って結婚する人もいますが、それはごく一部のようです。

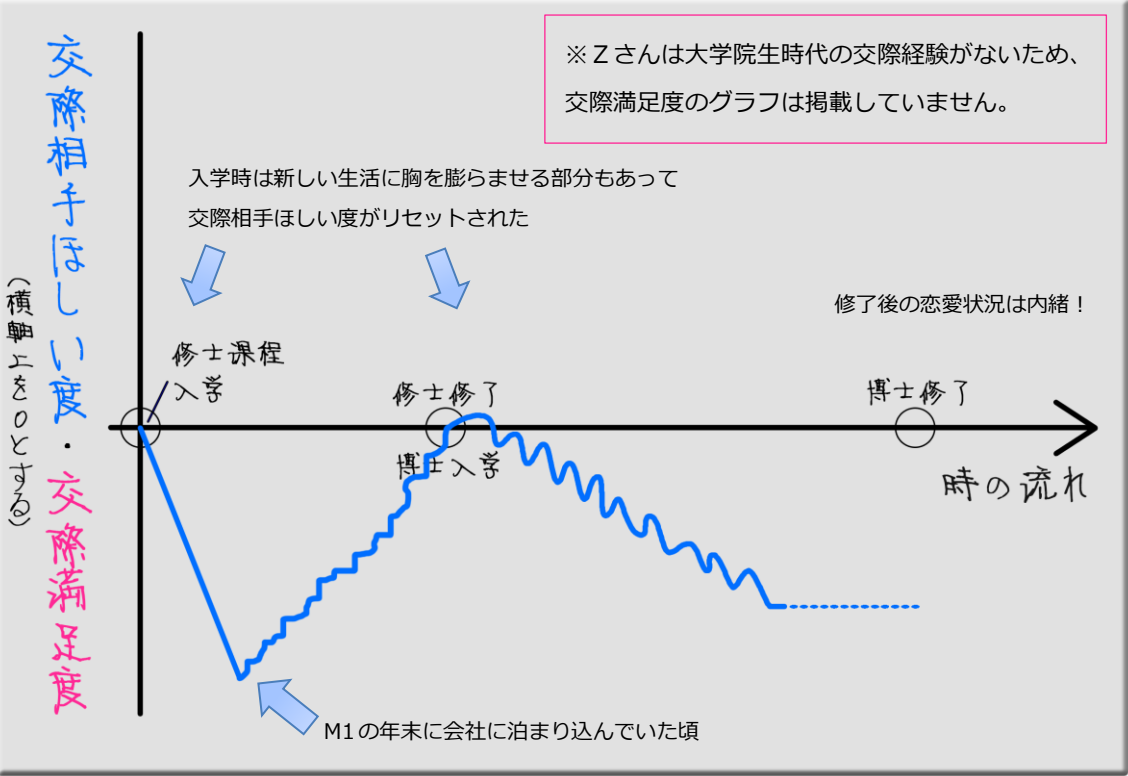
Q. 博士学生と付き合いたい人へメッセージを。

A. そんな人間いるんですか(笑) もし捕まえたければ、博士学生が多い大学の構内を歩か、知り合いの知り合いをたどって博士学生を紹介してもらえば出会えるのではないかと思います。

Zさん
M1

工学系(修士は教育学系)
下宿・定期収入有

※Zさんは大学院生時代の交際経験がないため、交際満足度のグラフは掲載していません。



文系・理系の両方のバックグラウンドを持つZさんは「大学院生時代を通して、(恋人と)付き合う気・結婚する気がなかった」そうです。彼は大学院入学後に学費を捻出するべく設立した会社の仕事を回しながら研究を行っていました。このため、院生活の中での恋愛の優先度はおのずと低くなったようです。また、「研究・勉強をしないと」「でもお金を稼がないと」という思いが混じり合っており、修士課程時代は空虚感に苛まれる日々だったとZさんは語ります。

仕事のほうは軌道に乗り、博士課程進学後は仕事関係の知り合いから女性を紹介されることが増えます。しかし相手の女性たちが安定志向・結婚願望が強い年上の方であることが多く、院生であり自分で会社をやっていることを伝えるといずれも交際には至りませんでした。またZさん自身も仕事に支障が出ないように「付き合い」でお見合いする部分もあったそうです。仕方ないと思いつつも、数ヶ月に1回「断られる」体験をすることで恋愛への意欲はだんだん下がっていき、D2終了時には博士論文執筆に専念すべく周囲からの紹介を控えてもらうようにしました(点線部分)。その1年後に博士課程を見事に修了されたZさんは、現在は国立大の助教に就いています。

彼は「恋愛することのデメリット(時間の拘束など)とメリット(精神的な支えなど)を考えると、当時の自分にはメリットの方が少なかった」と話します。「人と付き合っていて、自分と相手を引き受ける」ことなどは、結婚とかもお互いのために良いのであればすると良いのかな、「など率直な思いを教えてくださいました。

まとめ

本特集では、男子会で挙がった話題を中心に、博士課程男性の恋愛事情を3名の方に深めてうかがいました。記者として印象的だったことをまとめます。



〈WHY〉そもそも何故博士課程で恋愛を?

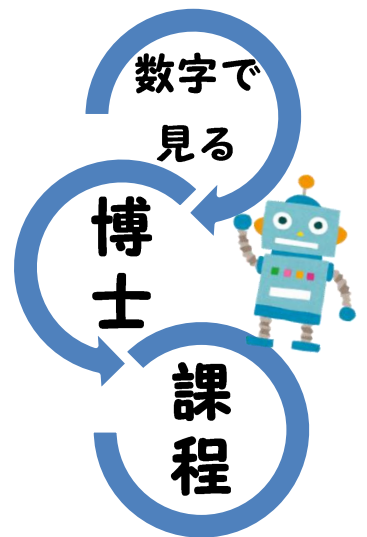
・精神的な支え ・結婚相手探し

博士課程在籍者はいわゆる結婚適齢期となる方が多いですが、将来を見据えて学生のうちに相手を探す方がそれなりにいるようです。しかし前号「博士女性の恋愛」とは異なり、博士男性では恋愛よりも研究に優先順位が置かれているケースが目立ちました。恋愛している・していない事と研究業績の相関があると面白いのかも知れません。

〈WHERE・WHO・HOW・WHAT〉

博士男子も意外と(?)普通の恋愛をしている印象を受けました。オタク要素満載であったりやたらインドアだったりという訳ではない様です。出会いは学内であれば講義等、学外であればサークル・課外プロジェクト(企業・留学)・紹介・合コンやお見合い等で、近年マッチングアプリを使っている方も増えています。交際相手に求める事には、やはり「研究活動に従事している事の時間的・経済的な制約を理解してくれる」事が重要な点として挙がりました。

(取材・執筆: マスター・ちどりあん・ソクラテス)



第4回 研究者と結婚

前回と今回は博士学生の恋愛事情について特集しました。その中で、「恋愛」というフェーズでは、出会いの場の少なさや立場の不安定さ、研究者（の卵）であることへの理解など様々な難しさを抱えていることがわかりました。それでは、「結婚」というフェーズでは、どのような状況なのでしょう。今回は研究者の未婚率と学歴ごとの結婚相手との出会いのきっかけについて見ていきます。

データがない

しかし、残念ながら、公開されている公的統計では博士号取得者や大学教員の婚姻状況はわかりません。国勢調査で配偶関係がわかるデータでは職業中分類までではなく、大学教員は『教員』というカテゴリーに入っているため、小・中学校等の教員と一緒になっています。また、研究者は「公的研究機関、大学附属研究所又は企業の研究所・試験所・研究室などの試験・研究施設」で研究に従事している者とされ、大学教員は含まれていません。今回の記事の研究者と教員の定義にご注意ください。

また、学歴ごとの出会いについては2010年の「第14回出生動向基本調査」のデータを用います。このデータの学歴分類は「大学院」とまとまっているため修士課程修了者が多くを占めていることに留意してください。

研究者はいつ結婚しているのか

まずは、2010年の国勢調査結果から研究者の年齢別未婚率を見ていきます（表1）。今回は正規雇用者に限ります。研究者の男性は全体と比べて30歳未満では未婚率が高く、35歳以上では逆に未婚率が低くなることわかります。30歳未満はまだ学生の方がいるからというの理由にありそうです。女性研究者は平均と同じくらいです。なお、正規雇用者全体もそうですが、正規雇用者では女性の方が未婚率が高いことがわかります（全体では同年代の女性の方が未婚率は低いです）。

表1 職業別正規雇用者の年齢別未婚率（2010年）

(男性・正規雇用)	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳
研究者	96.5%	77.2%	34.9%	21.9%	15.4%	11.1%	5.9%
教員	94.8%	65.6%	34.3%	19.2%	12.9%	9.3%	6.4%
一般事務従事者	94.0%	70.0%	38.2%	24.4%	17.1%	11.9%	7.8%
商品販売従事者	89.6%	66.6%	42.9%	31.3%	23.4%	17.1%	11.9%
飲食物調理従事者	87.2%	61.3%	38.8%	30.9%	24.4%	20.6%	16.6%
農業従事者	85.5%	60.2%	41.9%	34.1%	29.9%	23.4%	19.6%
建設・土木作業従事者	77.1%	50.5%	32.8%	26.6%	23.5%	20.3%	16.9%
正規雇用者全体	88.9%	64.4%	38.3%	27.5%	20.9%	15.8%	11.6%
(女性・正規雇用)	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳
研究者	92.9%	78.0%	50.7%	37.0%	29.4%	20.5%	17.6%
教員	97.3%	76.7%	46.2%	32.5%	23.9%	17.1%	12.9%
一般事務従事者	95.2%	77.8%	54.1%	40.7%	34.3%	26.1%	18.9%
商品販売従事者	95.9%	83.4%	65.5%	53.0%	41.7%	26.9%	18.0%
飲食物調理従事者	95.6%	76.9%	52.0%	30.3%	17.6%	7.8%	5.7%
農業従事者	94.2%	64.2%	40.7%	38.0%	14.9%	7.5%	4.7%
建設・土木作業従事者	88.9%	80.9%	52.6%	41.0%	30.9%	23.3%	7.3%
正規雇用者全体	95.1%	76.7%	52.2%	38.8%	30.2%	20.4%	13.4%

注：赤字は全体に比べて未婚率が5ポイント以上低いこと、青字は同率が5ポイント以上高いことを表す
出典：平成22年国勢調査より作成

表2 学歴別結婚相手との出会いのきっかけ（1995年以降に結婚）

	N	恋愛結婚				見合い結婚	その他	不詳	
		学校で	職場や仕事を通じて	友人・兄弟を通じて	その他				
全体	4109	11.1%	32.8%	27.8%	16.2%	6.4%	4.0%	1.8%	
妻学歴	高校（共学）	1021	8.8%	36.7%	28.9%	12.9%	6.0%	4.9%	1.8%
	短大・高专	1056	10.0%	30.2%	28.0%	18.8%	7.3%	3.6%	2.1%
	大学（共学）	610	20.8%	34.9%	17.5%	14.3%	7.7%	3.1%	1.6%
	大学院	66	47.0%	24.2%	13.6%	4.5%	6.1%	3.0%	1.5%
夫学歴	高校（共学）	1173	8.6%	32.3%	33.1%	15.3%	5.0%	3.8%	1.9%
	短大・高专	201	11.9%	30.3%	31.3%	11.4%	9.5%	4.5%	1.0%
	大学（共学）	1558	11.7%	34.9%	21.7%	18.0%	8.3%	3.7%	1.6%
	大学院	190	27.4%	27.4%	17.9%	12.1%	7.4%	5.8%	2.1%

注：紙幅の関係で一部省略しています。太字は各カテゴリーの最多出会いのきっかけ
出典：第14回出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）より作成

大学院生は結婚相手とどこで出会うのか

また特集では、博士学生から「出会いの場が少ない」という声が出ていました。実際、大学院生はどこで出会い、結婚しているのでしょうか。結婚相手に出会う場は時代の影響も受けるため、今回は1995年以降に結婚した夫婦のみのデータを見ていきます（表2）。

他の学歴の人と比較して、大学院卒者は「職場や仕事」と「友人・兄弟を通じて」の割合が低く、他人からの紹介や合コンなどでの出会いが少なめであることがうかがえます。一方、「学校」がきっかけである割合は他より高く（特に妻側が院卒の場合）、日常的に過ごした学校で結婚相手を見つけた人が多いことが「出会いの場が少ない」という言葉に表れたと考えられます。記事執筆しながら、人口に占める割合が少ないためか博士学生や大学教員の結婚動向について簡単にアクセスできるデータがないということを実感しました。しかし、恋愛や結婚も人生の関心事の一つであるため、そのためのデータの整備の必要性も感じました。次回回は「博士学生と就職」です！（執筆担当：マスター）

読者コーナー&編集部からのお知らせ



博士課程川柳

博士学生として過ごす毎日、過ごした日々の中で漏れ出る何かを、おおよそ十七文字で表現してください。
たとえばこちらへ

身についた 教員の 傾向と対策

(詠み人 なんば自由権)

ツイッター上でも川柳を大募集いたします。

ハッシュタグ「#博士課程川柳」をつけて、ぜひ

つぶやいてください！

川柳やお寄せいただきました感想・ご意見は、特集や一つのコーナーとするなど、今後の誌面作りに活用させていただきます。ごしごしご投稿ください！

※雑誌『博士世界』では、一緒に取材・記事執筆を行ってくださる編集部員を募集しています。博士課程について知りたい・伝えたい方であれば、実際に在学しているか・していたかは問いません。興味のある方は「一報を！」

「博士世界」 印刷版販売について

博士世界編集部では、本誌の印刷版の販売を行っています（1冊100円、東京・千葉にて）。ご興味のある方は、下記QRコードまたは本誌HP（hakasesekai.jimdo.com）から注文フォームにアクセスしてください。



ファビュラスさは
叶姉妹の1/50程度
(編集部調べ)

読者コーナーへの投稿、
本誌へのご意見・ご要望は

メールアドレス

[hakasesekai2016\[at\]gmail.com](mailto:hakasesekai2016@gmail.com)

へお寄せください！

([at]は@に変えてください)

※ご連絡の際には
ペンネーム・専攻分野・学年・性別を
添えてください

編集後記

イクメンが流行っていますが、ヒトより遙か昔からタツノオトシゴは、メスがオスの体に卵を産みつけオスが子育てをします。この甲斐性よ。でも結果としてメスの相対的な価値が下がり、タツノオトシゴ界ではメスではなくオスを巡る競争が見られるらしいです (Jones & Avise 2001)。(ちりあん)

旅に出たいです。僭越ながら、似た分野の学会のえらい人たちは、その年の学会開催地域がかぶらないようによろしくやってください。研究者のOOLに関わります(迫真(ソクラテス))

恋愛結婚とお見合い結婚の比率が逆転して約50年が経ちました。統計上、この二つは出会い方で分類されています。よって、お見合い結婚だとしても結婚するまでに恋愛感情を持っていた可能性もあります。研究する際には注意したいです。(マスタ)

交際相手ほしい度・交際満足度の表づくりで、テスト入力を担当しました。自分の昔を思い出して記入…。いろいろあったなあ(遠い目)。(末広アパート2号)

博士世界 第4号

二〇一七年八月三日発行

編集 「博士世界」編集部

(大上真礼・有子山俊平・寺田悠希・林直樹)

発行 特定非営利活動法人 国土利用再編研究所

606-8186

京都府京都市左京区一乗寺南大丸町

58番地3 一乗寺ビル2F

<http://iij.jp/>

2017年11月に刊行予定の本誌第5号は
特集「博士学生に仕事はあるか」
数字で見る博士課程⑤博士課程と就職
などを掲載する予定です。お楽しみに！